

明るく住みよい  
町をつくるため  
議会を傍聴しよう  
お気軽においでください



第 149 号

平成26年 9月 1日発行

〒289-0692

香取郡東庄町笹川い4713-131

東庄町議会

電話 0478 (86) 1 1 1 1



## 浪曲でまちおこし 天保水滸伝

大利根にぎわい座（町商工会笹川支部と玉川奈々福を応援する会）主催の浪曲会が、7月28日（月）笹川駅前のたなか庵で、玉川奈々福さんを迎えて開催されました。天保水滸伝「平手の駆けつけ」では、迫力ある奈々福さんの語りが始まると満員の観客は、一気に物語の中に引き込まれ、聞き入っていました。



- 6月定例会の内容…………… 2～3
- 常任委員会報告…………… 3
- 議員研修・委員会研修…………… 4
- 常任委員会研修…………… 5
- 一般質問…………… 6～11
- 議会トピックス…………… 12

# 6月定例会

## 議員発議による「専決処分事項の指定」を可決

6月定例会は、6月10日から13日までの4日間の会期で開かれました。

今議会では、同意1件、承認2件、議案1件が提案され、すべての案件を原案のとおり可決しました。

請願2件、陳情1件については、採択とし、これらに関連した議員発議による「意見書案3件」を可決しました。

また、議員発議による「専決処分事項の指定」が提出され、原案のとおり可決しました。

一般質問は10人の議員が行いました。

### 定例会の経過概要

6月定例会初日の10日には、任委員会を開催し、付託された一般質問を10人の議員が行った。

後、固定資産評価員の選任同意、条例の一部改正に係る専決処分の承認2件、一般会計補正予算の議案1件が提案され、慎重審議の結果、全案件を原案のとおり可決しました。

次に、繰越明許費繰越計算書の報告を受けました。

続いて、請願2件、陳情1件が上程され趣旨説明の後、所管の常任委員会に付託しました。

2日目の11日は、文教福祉常

案件の審査を行いました。

最終日の13日には、文教福祉常任委員長から付託された請願2件、陳情1件の審査結果の報告があり、採決の結果、全ての案件を採択としました。

これを受け、議員発議による意見書案3件を可決しました。続いて、議員発議による「専決処分事項の指定」が提出され、全員の賛成により、原案のとおり可決しました。

### 可決された主な議案等の概要

#### ◎固定資産評価員の選任

空席となっていた固定資産評価員に多部田秀也町民課長を適任者として選任することに同意しました。

#### ◎専決処分の承認（町税条例等の一部改正）

地方税法等の改正に伴いそれぞれの条例を改正したもので、主な改正内容は、町税では、認可地縁団体等に係る町民税減免措置の簡素化を図るもの、保険税では、軽減措置の拡大と同時に限度額の引き上げを行うものとなっております。

#### ◎一般会計補正予算

補正額は、880万円で、補正後の歳入歳出予算の総額を47億3,380万3千円とするものです。歳出の主なものは、コミュニティ助成事業250万円の他、保育園に対する各種事業補助金や消費者行政及び観光推進事業費等の経費を国・県等の補助金が新たに措置されたことにより補正したものです。

#### ◎専決処分事項の指定

議会の権限に属する議決事件



議員発議提案説明（多田議員）

の内、町長において専決処分することのできる事項を指定しました。これは、事務の簡素化を図り

円滑な町政執行及び適正な債権管理等に資するため、議会の総意をもって、指定したものです。

◎専決処分事項の指定について  
地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定に基づき、町長において専決処分できる事項を次のとおり指定する。

1 法律上、町の義務に属する1件100万円以下である損害賠償の額の決定に関すること。

2 目的物の価格が、1件100万円以下である和解及び調停に関すること。

※ これにより、指定事案については、議会の議決を経ずに町長の判断で処理することを認めることとなります。

### ◎専決処分

「専決処分」については、①、議会の権限に属する議決事件について、地方自治法第179条の規定に基づいて、限定的理由（議会が成立しないとき、特に緊急を要する事件について議会を招集する時間的余裕が明らかでないとき等）及び、②、地方自治法第180条の規定に基づいて、議会の議決により委任（指定）された事件（議会が軽易な事項と判断した事案）について、町長が議会に代わってこれを処分することをいいます。

どちらの場合も、当該処分について、議会に報告しなければなりません。特に①の場合は、会議において議会の承認を求めなければならないことになっています。

# 6月定例会上程議案等議決結果

同意第1号	固定資産評価員の選任について……………	【同意】
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (町税条例等の一部を改正する条例)……………	【承認】
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (東庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)……………	【承認】
議案第22号	平成26年度東庄町一般会計補正予算(第1号)……………	【原案可決】
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について (平成25年度東庄町一般会計繰越明許費繰越計算書)……………	【報告】
請願第1号	「国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	【採択】
請願第2号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願……………	【採択】
陳情第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情……………	【採択】
意見書案第1号	国における平成27年度教育予算拡充に関する意見書について……………	【原案可決】
意見書案第2号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について……………	【原案可決】
意見書案第3号	「手話言語法」制定を求める意見書について……………	【原案可決】
発議第1号	専決処分事項の指定について……………	【原案可決】

## 常任委員会報告

6月定例会の本会議において付託された請願・陳情については、所管の常任委員会において慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑、意見等の概要は次のとおりです。

### 文教福祉常任委員会

**〔請願第1号〕**「国における平成27(2015)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

**意見** 請願は、毎年、同じような形で提出されているが、教育予算拡充は、重要であるとの基本姿勢を示すことは、本町にとっても重要なことであり採択に賛成したい。

**意見** 全国的な視野に立てば、教育環境の格差は、危惧される。よって、全国の子供たちが同様の環境で学べるよう、本請願に賛成する。

以上のような意見等があり、請願第1号について採決した結果、当委員会では全員賛成により採択すべきものと決定しました。

**〔請願第2号〕**「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

**意見** 35人学級の実現等、進歩

している事柄もあるが、教育環境については、国内全てにおいて平等であるべきと考え

**意見** 町内の学校においても、クラス編成の人数制限で、1学年1クラスとなった現実を目の当たりにしている。

現行制度の維持・改善のためにも、義務教育費国庫負担制度は、継続されるべきもの

と考える。

以上のような意見等があり、請願第2号について、採決した結果、当委員会においては、全員賛成により、採択とすべきものと決定しました。

**〔陳情第1号〕**手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情

**意見** 陳情書にもあるように、健常者も手話を習得することにより、難聴者との意思の伝達が可能になり、気持ちに通じあえることとなる。

**意見** 健常者と障害者が対等な立場で向かい合える世の中を

目指すべきと考える。

本陳情主旨は、その一助となるものであるので賛成する。

**意見** 障害者のバリアフリー化が叫ばれるが、ハード面もさることながら、このような、ソフト面こそ重要であると考え

以上のような意見等があり、陳情第1号について、採決した結果、当委員会においては、全員賛成により、採択とすべきものと決定しました。



文教福祉常任委員会

## 議員研修・委員会研修

## 大分県豊後高田市へ

## 地域ぐるみで行っている「教育のまちづくり(学びの21世紀塾)」と「中心市街地再生(昭和の町)」を視察

子どもたちの教育の格差を解消するために開設された市営の塾「学びの21世紀塾」では、市内の高齢者や商店主が講師となり、子どもたちの勉強を市民がサポートするという、全国有数の取り組みをしています。

町並みの再生により、昭和30年代当時の活気とにぎわいのある商店街「昭和の町」を復活させ、商業と観光の一体化により商店街の魅力を高め活性化をめざしています。



子育て応援団「おひさまひろば」にて

平成26年度の議員行政視察研修は、5月21日・22日・23日の3日間の日程で、各委員会との合同により行いました。

第1日目から第2日目にわたり大分県豊後高田市に滞在し、同市の「子育て支援事業」、「教育のまちづくり事業」、「中心市街地再生事業」について視察研修を行いました。

第1日目には、担当者の案内によ



子育て支援事業「花いろ」にて

同施設の設備及び事業の多様性を肌で感じる事ができました。

その後、豊後高田市真玉庁舎に移動し、「教育のまちづくり事業(学びの21世紀塾)」について研修しました。

研修では、同市議会の河野議長の歓迎を受け、教育委員会の学校教育課長からの概要説明(「いきいき寺子屋活動事業」、「わくわく体験活動事業」、「のびのび放課後活動事業」)の後、学務係長から各事業の講座内容、運営の状況、受講の状況と成果等の説明を受け、質疑に入りました。



「昭和の町」の説明を聞く

り、「子育て支援事業(健康交流センター「花いろ」)」を訪問しました。施設の視察では、同市子育て・健康推進課の概要説明の後、同施設の運営を市から受託しているNPO法人「アンジュ・ママン」のスタッフから施設の運営の現状の他、「NPO法人設立の経緯」、「地域子育てサポート事業」、「病後児保育事業」等について説明を受け、

ここでは、わが町議員の活発な質問に対し、親切丁寧に応答いただきました。

第2日目は、豊後高田市高田庁舎を訪問し、「中心市街地再生事業(昭和の町)」について研修しました。

研修では、同事業がテレビ放映されたDVDの視聴に続き、担当者から「昭和の町」まちづくりの背景・経緯の他、商業者・観光まちづくり株式会社・商工会議所・行政の4者が一体となった事業展開の説明がありました。

その後、現地視察に移り、案内人の誘導により個々の店舗の案内とそれぞれの店主を紹介していただき、まちづくりに対する個々の「思い」にも触れることができました。

これらを通して、各事業に対する豊後高田市民の協働意識の高さと、まちづくり事業における住民参加の重要性を再認識する有意義な研修となりました。



「昭和の町」にて

東 庄 町 議 会 だ よ り

文教福祉常任委員会研修

小中一貫教育および認定こども園について研修

文教福祉所管議員は、平成26年7月3日、委員全員の参加により、視察研修を行いました。

初めに、「成田市役所」及び同市の「下総みどり学園」を訪問し、同市の「小中一貫教育の取組み」と同校の「施設・教育環境」について研修しました。

成田市役所においての研修では、同市議会副議長の歓迎を受け、同市教育委員会、教育総務課長、学校施設課長、学務課長

等から、「成田市の小中連携教育と小中一貫教育」における「取組み、期待する効果、要件」また、「下総みどり学園」の「基本理念、特徴、施設、教育計画等」の説明があり、質疑に入りました。ここでは、わが町議員の活発な質問に対し、担当者から実務を通しての丁寧な応答がありました。

その後、議会事務局職員の案内により、「下総みどり学園」に赴き、高山校長との教育現場を通しての詳細事項についての質疑・応答の後、新築された小学校校舎や既存の中学校校舎と



「下総みどり学園」の説明を聞く

の連絡部分等を説明を交えながらご案内いただきました。更に、下校時刻と重なったため、スクールバスの乗車状況も具に見学することができました。

続いて、多古町に移動し、同町の「多古こども園」を訪問し、認定こども園制度における「幼保連携型施設」について研修しました。



多古こども園を見学

研修に際し、同町議会の所議長の歓迎を受け、こども園事務長から、「園沿革（少子化に対応した、町の保育・幼稚園事業の取組み）、施設概要、保育・教育方針、組織等」の説明があり、質疑に入りました。

その後、園長、副園長両氏に案内いただき、最新の設備を備えた各施設を見学しました。

これらの研修を通して、本町における同様の施設の整備又は計画を深慮するための参考となる有意義な研修となりました。

千葉県町村議会

議員研修会

8月1日、千葉県町村議会議長会の主催による平成26年度千葉県町村議会議員研修会が開催され、全議員が参加しました。

研修では、小峰隆夫氏（日本経済研究センター理事・顧問）による「人口減少下の日本経済と地域」及び片山善博氏（元総務大臣）による「地方議会への期待と議会改革」と題した講演が行われました。

それぞれの講演では、人口の年齢構成の変化による経済への影響、人口減少がもたらす地域社会の諸問題の考察や地方議会の現状の再認識を通して、議会の議決機関たる機能充実のため、議員同士が議論を尽くせる議会運営への転換等の提言があり、有意義な研修となりました。



利根川治水同盟  
治水大会に参加



7月23日、群馬県高崎市群馬音楽センターを会場に、第65回利根川治水同盟治水大会が開催され、副議長及び総務産業常任委員2名が参加しました。

この大会は、1都5県の利根川流域住民3千万人の悲願である「水害の防止と豊かな水資源の確保」を目指し、毎年開催されるものです。

大会では、流域の治水・利水・環境事業の早期実現に向けての要望決議のほか、群馬大学大学院教授、清水義彦氏の「カスリ台風による利根川上流域での被害について」と題した、過去の災害から学ぶ「ゲリラ豪雨」に対する治水対策の必要性に関する講演がありました。

# 一般向

# 町政を大きく



城之内 一男 議員

## 平成26年度一般会計予算について

### 歳入（町税・地方交付税・町債）について

問 町税は、今後税収増が見込まれるか。

町民課長 人口と税収の関係は一般的には、人口減少により税収が減少すると言えますが、一方、固定資産税など、人口減少の影響を受けにくい税もあり、税目により違いが出ると言えます。

問 基準財政需要額、基準財政収入額、基準財政規模、留保財源の見込みと臨時財政対策債の発行可能額の見込みは。

総務課長 基準財政需要額、29億7300万円、基準財政収入額、13億7700万円、基準財政規模、35億7900万円、留保財源、3億5000万円。臨時財政対策債の発行可能額は、2億4900万円を見込んでいます。

問 学校債や道路債などの建設債の見解は。

総務課長 今後の建設債の発行は、将来負担が過大にならないよう、かつ効率的な利用を考へることが必要と考えています。

### 歳出（教育費・性質別歳出）について

問 学校図書購入費及び教材整備の交付税措置額と予算措置額は。

総務課長 【学校図書購入費】

・交付税措置額

平成25年度は、小学校1学級当り3万8500円で、43学級分165万5500円です。

中学校1学級当り6万4800円で、14学級分9万7200円です。

・予算措置額

平成26年度小学校135万円

平成26年度中学校100万円

【教材整備】

・交付税措置額

平成25年度は、小学校1学級当り17万6600円で、43学級分759万3800円です。

中学校1学級当り21万2800円で、14学級分297万9200円です。

予算措置額は、備品が不明のため、計算されていません。

問 各学校図書館の蔵書冊数は十分か、また、本の選定や管理活用方法についての見解は。

教育課長 蔵書冊数については、神代小学校が、学校図書館図書標準の6割余り、石出小学校が同標準の8割足らずであり標準を達成していません。引き続き冊数の確保に努めたいと考えます。

本の選定・管理は、笹川小学校・東城小学校・東庄中学校には「司書教諭」が配置されています。その他の学校は図書館



神代小学校図書館

担当者を中心となり、各学校の判断で行っているところです。

なお、図書は常に新陳代謝が必要になりますので、今後も図書費予算の確保に努めてまいります。

問 町税等のコンビニ収納等準備委託料が計上されているが、利用者見込数及び徴収率の向上に対する効果も含めた見解を伺う。

町民課長 コンビニ収納利用見込み者数は、最大で5000人強とみています。コンビニ収納には、継続的な経費として、年間400万円程度見込んでいますが、時間的制約を受けられない収納場所を提供することで、納期内の納付促進につながり、滞納整理の簡素化、

効率化が図られ、収納コストの軽減とともに、収納率の向上が期待されることです。

問 行政改革により、人件費（職員）が減少し、物件費（委託料・賃金）が増加となっているが、業務委託の基本的な考え方及び臨時、非常勤職員の割合と待遇を伺う。

総務課長 町が直接実施するよりも、他の者に委託して実施させる方が効率的なものは、基本的に業務委託へ移行していくものと考えます。

また、臨時職員と非常勤職員が、常勤職員との合計に占める割合は29.6%です。待遇については、関係法令に従い、引き続き適正に活用してまいります。

## 平成26年度特別会計予算について

問 国民健康保険特別会計予算の課題に関する、町の認識を伺う。

町民課長 国民健康保険制度には、さまざまな課題があると、町としても認識しているつもりですが、国民健康保険により、町民が安心して医療にかかれるよう、制度の安定化、被保険者の負担軽減に努めたいと考えて

東 庄 町 議 会 だ よ り

います。  
**問** 保険税の収納率の低下が及ぼす影響は。

**町民課長** 保険税は医療給付をするための目的税あり、仮に滞納が大幅に増加して収納率が悪化した場合、制度上、医療給付ができなくなる恐れがあります。そのようなことが起きないように適正な納付を呼びかけるとともに、きちんと納付している善良な被保険者に影響が出ないよう、悪質な滞納者に対しては、厳しい対応も必要と考えています。



山崎 ひろみ 議員

これからの医療・介護について

**問** 平成24年度から実施している「検診を活用した健康づくり」モデル事業の成果と、今後の取り組みについて伺う。

**健康福祉課長** 各検診とも新規受診者が100名程度で、コンスタントに増加しています。毎年精密検査から医療管理に回る方も80名程度おり、効果は着実に表れていると考えます。

本年度で、モデル事業は終了しますが、子宮がん検診は、来年度以降もHPV検査・液状検体を継続し、異常の無い方には2年に1度の検診とするなど、住民の負担軽減と検査精度を上げて行きたいと考えています。

また、胃がん検診は、ピロリ菌及びペプシノーゲン検査を5歳刻みで実施しているため、今後2年間は町独自で実施する予定で、その後の対策として、

今年度から35歳節目健診にピロリ便中抗体検査を導入して、若い世代からの予防活動に力を入れていきたいと考えています。

**問** 子宮がん検診の無料クーポン券の利用状況、今後の取り組み、啓発活動をお聞きする。

**健康福祉課長** 利用は停滞しておりますが、一因として、身近に検診医療機関がないことが考えられます。今後とも集団検診の新規受診者を増やしていくことが重要だと考えますので、40歳以上の方には5歳刻みでの個別の受診勧奨を継続してまいります。

また、若い世代への子宮がん啓発活動として、若い世代が集まる場での啓発活動を強化し、受診者の拡大を図っていききたいと考えています。

**問** 認知症の患者・家族を支援する施策や、生活支援サービス等の整備など、町の取組み状況と、今後の計画等についてお聞きする。

**健康福祉課長** 町単独で取り組んでいる事業として、「認知症サポーター」養成講座や「家族介護教室」を開催しています。

今後の計画として、介護保険法の制度改正に伴い、「認知症初期集中支援チーム」の設置等、今年度の介護保険事業計画策定

の中で実施時期と内容を検討してまいります。

**問** 第6期介護保険事業計画の策定では、介護予防の取り組みが重要であり、これまで行ってきた事業効果を精査して策定して行くべきと考えらるが。

**健康福祉課長** 65歳以上のすべての高齢者を対象に行ったニーズ調査を基に、住民の意識、生活環境等の実態やニーズ等を把握すると共に、今まで取り組んできた介護予防事業を精査するなどして、今まで介護認定を受けていない高齢者への支援と合わせ、町の実情に合った取り組みを検討してまいります。

町の将来を担う若者支援について

**問** 若者の声をどのように聞き、町政に反映させているか。

**総務課長** 平成23年度より「誰でも」「いつでも」町への提言・意見を伝える仕組みとして、年2回、「広報東庄」に封書で投函できる用紙を織り込んでいます。また、町のホームページから投稿できるシステムになっており、意見等に対応しています。

公聴は大事なことと認識しており、特にこれからの町を担っ

て行く若者の、仕事・子育て等についての意見を聞く場、機会等を検討していきたいと考えます。

**町長** 若者の意見を聞き、町政に反映させていく努力をしていきたい。

また、住民の代表である議員の皆さんの力を借りながら、推進できるものは推進してまいります。



子どもまつり

東庄町議会議だより



林 甚一 議員

町長の政治姿勢について

問 町長が町政を担ってからの多くの課題を乗り越え、事業を遂行し、機構改革を断行してきたが、これら町政運営の中で、基本としてきた取り組み姿勢を伺う。

また、人口減少問題等を抱える地方としての、今後の町政の在り方についてお聞きする。

町長 私が、東庄町長として就任した平成7年は、阪神淡路大震災が発生した年でした。

社会情勢の変化、地下鉄サリン事件等を含めた大変な時代の中で、この震災がもたらしたものは、やはり安心安全、人の命を守るという大きな教訓でした。

町政はさまざまな課題に対応していくわけですが、行政を預かるという事は、そこに住む方たちの命を預かるという重大な役目があると認識して、就任を

させていただきました。

振り返りますと、就任当初は病院改革が喫緊の課題でした。

病院の新築移転を機に、町民から信頼される病院として再生するため、旭中央病院の当時の院長先生の力を借りて、今でいうサテライト型の病院体制づくりを進めてきました。

今、医師不足の問題がクロージアップされていますが、東庄病院が当時から取り組んできた総合医の育成は、全国から高い評価をいただき、先進事例として注目されているところで、こうした取り組みにより、東庄病院の経営が4年前から黒字転換しており、その体制を続けて行けるということは、小さな町の病院でも、やり方、方法次第ではどこにも引けを取らないものが構築できるという自信につながっています。

健全財政の維持と行政の効率化を目指した行政改革では、平成13年4月に行政組織9課を4課に統廃合。全国に先駆けて組織改革をし、職員数を削減。起債を極力おさえる行政運営を目指してきました。

学校教育については、この地域に合った教育制度、小さな町のできる範囲の中で、少ない人数でも教育のまちと言われるよ



次期出馬を表明する岩田町長

ければ、町の特徴は失わないと考えています。

私の政治姿勢は、いつでも町民目線で町をつくるは、何でも頑張っていく。みんなで協力し力を合わせれば、たとえ小さな町でも、どんなことでも乗り切れるという思いで取り組んできました。

町の主役は町民であるという、

うな環境を築きたい。今、少子化の中で、小学校の統廃合の道筋が付き、具体的な再編計画の作成を進めているところです。

将来を担う子ども達をどう育てていくかということも含め、行政の在り方の中で教育問題が、非常に大きな位置づけとして取り上げられていくだろうと思っています。

将来の人口減少問題については、人口を増やそうということよりも、今の体制を守っていくということが機軸になると思います。今後人口が減少しても、今のよういきちんとした形の中で行政を進めて行き、後継する方々にその体制を守っていただ

されているが、選挙に向け、どう考えか。

町長 来年は、町政施行60周年を迎える記念すべき年です。

町民の皆様方、議会のご理解とご支援が得られるならば、再度町長選挙に出馬し、町民のために全力で仕事をしていくことをお誓い申し上げます。

基本的な政治姿勢は変わっていません。いつでも町民と一緒に歩むという考え方で、町民のために全力を傾注してきました。これからも続けてまいります。

問 町長の答弁で、町政への熱い思いが伝わってきたが、そこには、「また、道半ば」との決意もあるように感じられる。本年12月に町長選挙が予定



健康づくりの拠点として整備された各施設



東 庄 町 議 会 だ よ り



林 俊之 議員

他の自治体から学ぶ町づくりについて

問 商業の活性化には、全国の自治体が苦慮しているところだが、中には、豊後高田市のように、まちの独自の資源と個性を活かした商店街を作り、活性化を図っている自治体がある。

商業活性化に向けた町の取組みについてお尋ねする。

産業振興担当課長 商業の活性化

化に向け、平成23年度、平成24年度に、東庄町観光ガイドブック「るるぶ東庄」、昨年度は、スマートフォン等に対応した「東庄町おもてなしガイドブック」を作成し、町の魅力を紹介しています。

今後町・観光協会・商工会等が一体となり、町に立ち寄る方々へのサービスの向上や観光地ブランドの確立により、リーダーを獲得し販売や商業ベースでの事業効果を上げることにより、商業の活性化を図りたいと考えています。



ココアの収穫体験

問 町の基幹産業である農業での交流促進及び、男女の交流促進について、町の考え方をお聞かします。

産業振興担当課長 消費者と生産者の交流により、農業の活性化を図るべく「こかぶの収穫体験」や「枝豆の収穫体験」を行っており、いずれのイベントも定着しています。

今後農産物を軸とした、さまざまな活動に取り組んで行きたいと考えています。

また、男女の交流促進として、婚活イベントを年に1度開催しています。今年度も、より参加しやす

いイベント等を検討し、出会いの場を提供していきたいと考えています。

介護保険事業について

問 広域型介護事業及び地域密着型事業の現状と今後について、町の考え方をお尋ねする。

健康福祉課長 まず、本町にある広域型の3施設の現状ですが、「介護老人保健施設深深」は、定員84名に対し、入所者83名、待機者11名です。

「特別養護老人ホーム瀧瀧」は、定員50名に対し、入所者50名、待機者51名です。

「東庄病院介護療養型医療施設」は、定員43名に対し、入所者34名、待機者はいません。

次に、地域密着型の2施設の現状ですが、「楽天堂和楽」は、定員25名に対し、利用者は24名です。

「小規模特別養護老人ホーム竜神苑」は、定員29名に対し、入所者27名、待機者32名です。

これらの介護施設の今後については、今年度に策定する平成27年度から平成29年度を計画期間とする第6期介護保険事業計画で、それぞれの介護サービスを必要とする需要の見込みを計画に位置づけ、その範囲内で施設整備を推進してまいります。

要望 町内には、運営面から既存施設の一部の運用を見送っている状況もある。待機者の解消と併せて、町が協力可能な施策の検討を望む。



鈴木 正昭 議員

豚流行性下痢(PED)について

問 現状と町における対応策について伺う。

産業振興担当課長 当町における感染状況ですが、18カ所の農場で感染しているという情報を得ています。

町の対応として、4月11日から東庄町家畜防疫協会より、各養豚農家へ石灰と消毒剤の配布を行っており、今現在の配布状況は、石灰1345袋、消毒剤1065リットルです。また、4月10日から千葉県北部家畜保健衛生所が感染防止対策として、畜産関係車両の消毒を行っています。

5月12日よりPEDワクチンの確保ができつつありますので、ワクチン接種により、約1カ月程度でこの疾病の鎮静化が図られるとのことです。

問 発症予防ワクチン接種費用の補助について伺う。

産業振興担当課長 PEDワクチンは発症予防にかなり有効的な手段と考えています。接種の補助については、国、県の動向を踏まえて、今後検討して行きたいと思っています。

問 町家畜防疫協会との連携について、町の考えをお聞かします。

産業振興担当課長 今後、法定伝染病やこのような家畜伝染病が発生した場合には、いち早く家畜防疫協会の会議を招集し、関係機関の意見を伺い、最善の対応策を検討したいと考えています。

公共施設のバリアフリーについて

問 取り組みの状況、問題点、解決策を伺う。

総務課長 町が管理している施設は16施設あります。スロープは全施設で設置されていますが、多目的トイレは、未設置箇所が数カ所あり、洋式トイレで対応している状況です。今後、改修工事等実施時に設置工事を検討

して行きたいと思いません。  
**問** オーシャンプラザの出入り口仕様について伺う。

**総務課長** オーシャンプラザの出入り口の内2カ所は、車いす利用者にとって、使い勝手の悪い開きドア構造となっております。今後、利用状況及び、利用者

の意見等を参考にし、修繕工事等を検討していきたいと思いません。



大網 正敏 議員

財務諸表について

**問** 財務書類作成に当たって、基準モデルを採用せず、なぜ総務省方式改訂モデルを採用したのか、また、町の固定資産台帳は整備されているか、お聞きする。

**総務課長** 基準モデルは、町の資産台帳が作成されていることが前提であり、また、資産台帳の整備やシステム導入の経費、毎年のランニングコストがかかることにより、当町では総務省

方式改訂モデルを採用しました。町の固定資産台帳については、公有財産台帳、町有地と建物についてののみ、データ化していません。道路・河川といったインフラについては未整備となっております。

**問** 9月議会（決算議会）から、公表が9カ月も遅れるのは、なぜか。

**総務課長** 総務省方式改訂モデルは、毎年の「財政状況調査票」が作成された後に、そのデータを使用した様式に修正されます。毎年9月頃に、総務省から様式が通知され、その後予算編成の時期となっているため、当町では6月に議会説明と住民公表を行っている。

**問** 財務書類、財務4表の活用法についてお聞きする。

**総務課長** 財務4表の作成後のデータの活用としては、前年の財政状況と比較する程度となっておりますが、活用事例として「行政評価との連携」、「公共施設の老朽化等の資産管理」、「予算編成の参考資料」などが挙げられます。

**問** モデルの統一及び、決算議会に同時に提出することはできないか。

**総務課長** 国では、「今後の新地方公会計の推進に関する研究

会」を設置し検討を行っており、4月に報告書が取りまとめられました。今後は、統一的な基準による作成を地方公共団体に要請し、平成29年度末までに作成する流れが想定されています。基準が統一された後には、決算議会が財務4表の報告ができるものと思われれます。



佐久間 義房 議員

町の活性化について

**問** 厳しい財政事情の中で、町の活性化を図るには、国等から公共施設を誘致することが得策と考える。町に対して、国等から公共施設の建設計画があった場合、それを受け入れていく考え、また誘致する考えがあるかお聞きする。

例えば女子刑務所・交通刑務所・競艇場外発売場など。

**総務課長** 刑務所、または競艇等の公営競技の場外発売場の受け入れ、あるいは誘致については、今後の検討課題として捉え

ていきたいと思いません。  
**問** 地域活性化につながる福祉施設の誘致について、どのように考えるか。

**総務課長** 福祉施設は、町として必要な施設と認識しています。設置希望事業者等があれば要望に対応でき、また、お話を伺う体制にあると思っております。

**問** 町長は、「水の郷さわら」川の駅から船を走らせて、観光客を誘致するというような案をお持ちのようだが、今後どのように進めていくのか伺う。

**町長** かつては、利根川を利用して船で物資を運んでいました。今、利根川沿線の茨城県、千葉県を問わず市町が協力して、利根川に船を走らせようという壮大な計画があります。船で観光するという目的で、各市町に船着き場を作り、そこを一つの拠点にし、船を使った催し物ができないか。船の規模や関連する市町の範囲や方法等検討が行われていますので、今後会議の様子がわかり次第、議会に報告させていただきます。



コジュリン公園の船着き場

議会の傍聴に  
お出かけください

9月定例会は、9月9日(火)  
から開会予定です

<http://www.town.tohnosho.chiba.jp/>



花香 孝彦 議員

### 総合計画について

**問** 町民と行政が一体となって個々に目標を達成することで町民の満足度向上につながり、また、協力も得られると思うが、第5次東庄町総合計画の目標値の進捗・達成状況は、町民に周知されているか。

**総務課長** 議会へ報告のみとなっております。

**問** 目標値のデータを活用しているか。

**総務課長** 施策の活用について、できることについては、各担当課で対応し、施策作成を行っています。

**問** 目標値を達成するためのPR及び改善策を伺う。

**総務課長** 広報紙及びホームページにわかりやすく掲載するよう検討したいと思えます。

**意見** 町民の総意とも言える、総合計画に示されていることを一つ一つ達成することで、町民



板寺 正範 議員

の付託に任せ、平成28年度の目標想定人口1万5000人を維持することが、最終的な評価になるのではないかと。

### 人口減少問題の対策について

**問** 「日本創成会議」の人口減少問題検討分科会が、5月8日に公表した「消滅可能性都市」団体一覧に東庄町も位置付けられている。

この、人口推計をどのように分析し、その対策を講じて行くのか伺う。

**総務課長** 今後、町の職員間で人口減少問題について分析・検

討をしていきたいと思っております。

**問** 人口減少問題の総合窓口や、若い人の意見を聞く場として、委員会や座談会のような組織づくりも必要になってくると思うが、町の考えをお聞ぎする。

**総務課長** 人口減少問題を含め若い人の意見を聞く場及び、各課等の垣根を越えての組織づくりが必要と認識しており、連携して、より良い施策を検討していきたいと思っております。

**問** 人口3万人を目標に掲げて人口減少対策に取り組んでいる豊後高田市（本年度の行政視察地）だが、諸事業には、多くの財源が必要になると思う。当町と比較してみると、地方交付税、国・県支出金が、当町の4倍近い数字となっている。

地方交付税の算定内容と、事業をするうえで、交付税の数値にどのような変化があるのか伺う。



高木 武男 議員

### 教育について

**総務課長** 市町村の予算編成では、歳入のうち税収は、人口や経済活動に大きく影響を受けるものであり、歳出も特殊事業による等、単純に額の増減で比べられるものではありません。地方交付税の額も、多種の算定項目があるため、算出には詳細なデータが必要です。また、合併した市町村は合併算定替による増額の調整があります。各市町村とも、地域の事由・状況などを考慮して予算執行していると思われま

**問** 教育委員会は、教育のまちづくりについて、どのように認識し、どのような構想があるのか伺う。

**教育課長** 町の教育につきましては、現在、第5次東庄町総合計画の後期基本計画に掲げた施策を基に進めているところです。

今後策定する（仮称）東庄町立小学校再編計画の中で、新たな町の教育理念・目標、考え方などを、お示ししてまいります。  
**問** 教育のまちづくりのための構想と、その行動計画を明記した東庄町教育基本条例の制定について、教育委員会の見解をお聞ぎする。

**教育課長** 教育基本条例については、憲法、教育基本法、学校教育法などによって、我が国の学校教育制度の根幹が定められていますので、教育のまちづくりの構想・計画とは別々なものと捉えています。

構想と計画については、小学校再編計画に基本的な部分を盛り込んで行く考えです。

## 総合計画

町では、地方自治法第2条第4項を根拠に平成19年3月に「第5次東庄町総合計画」（前期基本計画・後期基本計画及び実施計画からなる10カ年計画）を策定しました。その後、平成23年に地方自治法が改正されましたが、町の将来の方向性を示す指標として位置付けています。計画では、施策・事業について明確な目標を立て、実行し、結果を分析・検証したうえで、その後の計画づくりに活かしていくという手順が重要と考え、重要度が高く、かつ数値化できる事業について、平成28年度の達成度を明らかにするため「目標値」を設定しています。

この一般質問は、6月定例会の内容を要約したものです。全文は、東庄町ホームページ内東庄町議会・会議録からご覧下さい。

また、宮崎正吾議員が多年にわたり町議会議員（在職11年以上）として、地方自治振興発展に尽力された功績により自治功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。

さらに、同会の監事に本町議会議長の鎌形寿一氏が選任されました。

両氏におかれましては、益々のご活躍をお願いたします。



監事就任のあいさつをする  
鎌形議長

5月26日、平成26年度第1回千葉県町村議会議長会定例会が開催されました。議長会から、国及び県に対する要望事項を提出し、当町議会からは、県への要望事項として、「総合診療医」の積極的な育成などを要望しました。

**千葉県町村議会議長会  
自治功労表彰  
・宮崎正吾議員が受賞**



喜びの宮崎正吾議員

**刈羽村と南アルプス市議会が議場の多目的利用視察に来町**

5月29日、新潟県刈羽郡刈羽村議会の役場新庁舎建設調査特別委員会、7月25日には、山梨県南アルプス市議会の庁舎建設特別委員会の皆さんが、議場の多目的利用視察のため本町を訪れました。

鎌形議長の歓迎のあいさつの後、総務課職員と議会事務局長が対応しました。



刈羽村議会来町



南アルプス市議会来町

組織改革を推し進めるとともに、財政状況を考慮しつつ、庁舎建設に至るまでの経過、建設にあたっての各施設の集約、なかでも、「議場」を「多目的ホール」として建設した経緯及び運用状況等を重点的に説明し、質疑と説明が交わされました。その後多目的ホールを見学し、2時間余りにわたる有意義な相互研修となりました。

**議 会 活 動 日 誌**

**【議長・議員が出席した主な行事】**

- 5月 2日 東庄町PTA連絡協議会総会
- 9日 東庄町遺族会総会
- 12日 小型ポンプ積載軽自動車訓練  
〃 正副議長・委員長会議
- 13日 香取市東庄町病院組合議会全員協議会
- 14日 新議員等町内介護（予防）施設見学
- 15日 小型ポンプ積載軽自動車訓練  
〃 東総台地地区広域営農団地農道建設促進協議会総会
- 16日 香取郡市町議会議長会定期総会
- 19日 東庄町社会福祉協議会並びに千葉県共同募金会  
東庄町支会理事会
- 20日 東庄町献血推進協議会  
〃 東庄町商工会通常総代会  
〃 小見川交通安全協会東庄町支部総会
- 21日～23日 議員・委員会合同視察研修（大分県豊後高田市他）
- 24日 東庄町小学校陸上競技大会
- 26日 千葉県町村議会議長会定例会
- 29日 新潟県刈羽村議会役場新庁舎建設調査特別委員会視察
- 6月 1日 東庄町防災演習
- 3日 東庄町地域活性化事業審査会  
〃 議会運営委員会
- 6日 東庄町シルバー人材センター通常総会

- 8日 東庄町観光ふな釣り大会表彰式
- 10日 議会6月定例会本会議  
〃 議会全員協議会
- 11日 文教福祉常任委員会
- 13日 議会6月定例会本会議  
〃 議会全員協議会
- 19日 香取支部ポンプ操法大会出場部激励会
- 22日～24日 東庄町区長会研修旅行（四国・山陽方面）
- 22日 なのはなシニア千葉特選演芸会
- 26日 香取広域市町村圏事務組合議会運営委員会  
〃 香取広域市町村圏事務組合議会全員協議会  
〃 香取広域市町村圏事務組合議会6月臨時会
- 28日 千葉県消防協会香取支部ポンプ操法大会
- 29日 東庄町文化のつどい
- 7月 3日 文教福祉常任委員会視察研修（多古こども園他）
- 9日 東庄町PTA連絡協議会教育関係者研修視察（下総みどり学園他）  
〃 東庄町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会
- 14日 東庄町水道運営審議会  
〃 東庄町国民健康保険運営協議会
- 17日 東庄町学校給食センター運営委員会
- 23日 利根川治水同盟治水大会
- 25日 山梨県南アルプス市議会庁舎建設特別委員会視察
- 29日 東庄青果通常総会